

## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年4月28日

上場会社名 株式会社FPG 上場取引所 東  
 コード番号 7148 URL http://www.fpg.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷村 尚永  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 久保出 健二 TEL 03-5288-5691  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	10,598	28.5	7,104	20.9	7,128	21.9	4,542	22.8
27年9月期第2四半期	8,246	166.5	5,874	235.5	5,849	293.9	3,700	307.8

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 4,500百万円 (21.9%) 27年9月期第2四半期 3,693百万円 (298.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	49.40	49.13
27年9月期第2四半期	39.44	39.06

(注) 平成27年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。上記の1株当たり情報は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	69,544	14,849	21.2
27年9月期	69,087	16,176	23.3

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 14,748百万円 27年9月期 16,091百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	24.50	24.50
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	35.50	35.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,388	26.6	12,542	24.4	12,666	26.0	8,041	26.8	88.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期2Q	94,407,600株	27年9月期	94,299,600株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	4,506,673株	27年9月期	6,673株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期2Q	91,966,894株	27年9月期2Q	93,824,058株

（注）平成27年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。上記の株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料の目次】

平成28年 9 月期 第 2 四半期 決算概要 .....	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	3
(1) 経営成績に関する説明 .....	3
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	9
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	10
(4) 追加情報 .....	10
3. 四半期連結財務諸表 .....	11
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	13
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	13
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	14
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	15
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	17
(継続企業の前提に関する注記) .....	17
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	17
(セグメント情報) .....	17

平成28年9月期 第2四半期 決算概要

損益の状況

- タックス・リース・アレンジメント事業について、案件組成のサポートを行う関係会社との連携推進等により、リース事業組成金額が1,819億円となったこと、また投資家からの出資金に対する需要が強く推移する中、販売ネットワークの拡大を含む販売力の向上により、出資金販売額が565億円となったこと等から、同事業の売上高が前年同期に比べ、大幅に増加いたしました。
- その結果、その他事業を含めた売上高・利益ともに、前年同期に比べ、大幅に増加いたしました。

(単位：百万円)

	平成27年9月期 第2四半期	平成28年9月期 第2四半期	増減額	(予想) 平成28年9月期 連結会計年度
売上高	8,246	10,598	2,351	19,388
タックス・リース・ アレンジメント事業	7,822	9,752	1,929	17,531
その他	424	846	422	1,857
営業利益	5,874	7,104	1,229	12,542
経常利益	5,849	7,128	1,279	12,666
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,700	4,542	842	8,041
一株当たり 四半期(当期)純利益	39円44銭	49円40銭	—	88円43銭
リース事業組成金額	133,083	181,999	48,916	360,000
出資金販売額	47,463	56,580	9,117	111,580

財政状態の状況

(単位：百万円)

	平成27年 9月末	平成28年 3月末	増減額
資産合計	69,087	69,544	457
流動資産	66,032	66,662	630
(現金及び預金)	7,384	9,668	2,283
(商品出資金)	46,522	45,532	△990
(組成用不動産)	1,574	3,845	2,271
(その他)	10,550	7,616	△2,934
固定資産	2,993	2,840	△152
繰延資産	61	41	△20
負債合計	52,910	54,695	1,784
流動負債	50,030	51,273	1,243
(借入金・社債)	29,425	37,365	7,940
(前受金)	7,383	5,987	△1,395
(その他)	13,222	7,919	△5,302
固定負債	2,880	3,421	541
純資産合計	16,176	14,849	△1,326

資産合計

案件組成を積極的に行った一方で、出資金の販売を進めたことから、商品出資金が455億円となりました。

不動産小口運用商品を完売した一方で、新規商品用の不動産を取得したことから、組成用不動産が38億円となりました。

証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に係る差入保証金及びデリバティブ債権が減少したこと等から、流動資産に含まれるその他の資産の合計が、76億円となりました。

負債合計

商品出資金及び組成不動産の取得原資としての資金調達が増加したこと等から、流動負債の借入金・社債が、373億円となりました。

未払法人税等並びに、証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に係る受入保証金及びデリバティブ債務が減少したこと等から、流動負債に含まれるその他の負債の合計が、79億円となりました。

純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、前期末配当の実施、自己株式を取得したこと等により、純資産が148億円となりました。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成26年 9 月 期 第 2 四半期	平成27年 9 月 期 第 2 四半期	平成28年 9 月 期 第 2 四半期	増減額	増減率
売上高	3,094	8,246	10,598	2,351	28.5%
売上原価	424	1,077	1,301	223	20.8%
販売費及び一般管理費	919	1,294	2,192	898	69.4%
営業利益	1,750	5,874	7,104	1,229	20.9%
営業外収益	104	413	519	105	25.5%
営業外費用	370	438	495	56	12.9%
経常利益	1,484	5,849	7,128	1,279	21.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	907	3,700	4,542	842	22.8%

リース事業組成金額	52,747	133,083	181,999	48,916	36.8%
出資金販売額	17,655	47,463	56,580	9,117	19.2%

(注) 本書における用語の説明

リース事業組成金額	組成したオペレーティング・リース事業案件のリース物件の取得価額の合計額
出資金販売額	出資金（オペレーティング・リース事業の匿名組合出資持分）について、リース開始日までに投資家へ私募により販売した額及びリース開始日時時点で当社が一旦立替取得し、（連結）貸借対照表の「商品出資金」に計上したものについて、投資家へ譲渡により販売した額の合計額

当第 2 四半期連結累計期間における世界経済は、総じて緩やかに回復しているものの、中国その他新興国経済の減速懸念等もあり、先行きに不透明さが増しております。日本経済についても、緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の減速等の懸念もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に従い、各種施策の実施に努めた結果、タックス・リース・アレンジメント事業が好調に推移する等、前年同期に比べ増収増益となりました。

売上高

(単位：百万円)

	平成27年 9 月 期 第 2 四半期	平成28年 9 月 期 第 2 四半期	増減額
売上高	8,246	10,598	2,351
タックス・リース・ アレンジメント事業	7,822	9,752	1,929
その他	424	846	422

売上高は、10,598百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

(タックス・リース・アレンジメント事業)

タックス・リース・アレンジメント事業の売上高は、9,752百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

リース事業組成金額及び出資金販売額の状況は以下のとおりであります。

- ・リース事業組成金額は、181,999百万円（前年同期比36.8%増）となりました。これは主に、組成担当部署の人員を増強するとともに、案件組成のサポートを行う関係会社（FPG AIM グループ（FPG ASSET & INVESTMENT MANAGEMENT B.V. 及びその子会社）及びFPG AMENTUM LIMITED）との連携を推進し、好調な出資金販売環境、資金調達力の向上を背景に、積極的な案件組成を行ったことによるものであります。
- ・出資金販売額は、56,580百万円（前年同期比19.2%増）となりました。これは主に、業績好調な投資家からの出資金に対する需要が強く推移する中、販売ネットワークの拡大を含む販売力の向上により、出資金の販売額が増加したことによるものであります。

（その他事業）

タックス・リース・アレンジメント事業以外のその他事業の売上高は、846百万円（前年同期比99.6%増）となりました。このうち、前連結会計年度の第3四半期連結会計期間に連結子会社としたFPG AMENTUM LIMITEDが行う航空機投資管理サービス事業の売上高は315百万円となり、保険仲立人事業の売上高は、223百万円（前年同期比30.8%増）、不動産関連事業の売上高は、142百万円（前年同期比46.9%増）、証券事業の売上高は、103百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

## 売上原価

売上原価は、1,301百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

これは、主に、売上高拡大に伴い、顧客紹介に係る手数料が増加したことによるものであります。

## 販売費及び一般管理費

（単位：百万円）

	平成27年9月期 第2四半期	平成28年9月期 第2四半期	増減額
販売費及び一般管理費	1,294	2,192	898
人件費	640	1,146	505
その他	653	1,046	393

販売費及び一般管理費は、2,192百万円（前年同期比69.4%増）となりました。

これは主に、さらなる業容拡大を図るため、タックス・リース・アレンジメント事業のオペレーティング・リース事業案件の組成体制及び販売体制の強化、信託機能を活用した不動産小口運用商品の販売体制の強化を含む積極的な人員増強を行ったこと、FPG AMENTUM LIMITEDを新たに連結子会社としたこと、その他業容拡大等により、人件費が1,146百万円（前年同期比78.8%増）、その他の費用が1,046百万円（前年同期比60.1%増）となったことによるものであります。

（注）人件費には、給料手当、賞与（引当金繰入額含む）、法定福利費、福利厚生費、退職給付費用、人材採用費等を含めております。

## 営業利益

上記の結果、営業利益は、7,104百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

営業外収益／営業外費用

(単位：百万円)

	平成27年9月期 第2四半期	平成28年9月期 第2四半期	増減額
営業外収益	413	519	105
受取利息	200	321	121
持分法投資利益	134	158	24
その他	79	39	△40
営業外費用	438	495	56
支払利息	158	158	0
支払手数料	266	232	△34
その他	13	104	90

営業外収益は、519百万円（前年同期比25.5%増）となりました。これは主に、出資金販売額の増加に伴い、投資家から收受している商品出資金の立替利息が増加した結果、受取利息が321百万円（前年同期比60.7%増）となったことや、関連会社に関する持分法による投資利益が158百万円（前年同期比18.0%増）となったことによるものであります。

営業外費用は、495百万円（前年同期比12.9%増）となりました。これは主に、資金調達額は増加したものの、調達利回りが低下したことにより、支払利息が158百万円（前年同期比0.3%増）となったことや、支払手数料が232百万円（前年同期比13.1%減）となったことによるものであります。

経常利益／特別損益／親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益は、7,128百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

特別損益に、株式会社F P G投資顧問の株式取得時に発生したのれんに係る減損損失144百万円を計上いたしました。これは、今後の当社グループにおける資産運用サービスの拡充について、株式会社F P G投資顧問よりも、運用型信託会社の免許を有する株式会社F P G信託の活用を重点を置くことにしたため、株式会社F P G投資顧問の事業計画を見直した結果、のれんの未償却残高について減損損失を計上したものです。

上記の結果、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,542百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

セグメント別業績

セグメント別業績の概況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント	平成27年 9 月期 第2四半期		平成28年 9 月期 第2四半期	
	売上高	セグメント利益 またはセグメン ト損失 (△)	売上高	セグメント利益 またはセグメン ト損失 (△)
F P G	8, 113	6, 047	10, 044	7, 309
F P G証券	85	△39	103	△37
その他	47	△158	450	△143
合計	8, 246	5, 849	10, 598	7, 128

- (注) 1. 売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を消去しております。  
2. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(F P Gセグメント)

当社におけるタックス・リース・アレンジメント事業が好調に推移したことにより、売上高は、10,044百万円（前年同期比23.8%増）、セグメント利益は、7,309百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

(F P G証券セグメント)

売上高は、103百万円（前年度比21.1%増）、セグメント損失は、37百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

(その他)

売上高は、前連結会計年度の第3四半期連結会計期間にFPG AMENTUM LIMITEDを連結子会社としたこと等から、450百万円（前年同期比845.9%増）となりました。セグメント損益については、株式会社F P G信託において、売上高の拡大を可能とするための体制整備に努めた結果、費用の発生が先行していることもあり、セグメント損失は、143百万円（前年同期比9.6%減）となりました。



( 2 ) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

( 単位 : 百万円 )

	平成27年 9 月末	平成28年 3 月末	増減額
資産合計	69,087	69,544	457
流動資産	66,032	66,662	630
(現金及び預金)	7,384	9,668	2,283
(商品出資金)	46,522	45,532	△990
(組成用不動産)	1,574	3,845	2,271
(その他)	10,550	7,616	△2,934
固定資産	2,993	2,840	△152
繰延資産	61	41	△20
負債合計	52,910	54,695	1,784
流動負債	50,030	51,273	1,243
(借入金・社債)	29,425	37,365	7,940
(前受金)	7,383	5,987	△1,395
(その他)	13,222	7,919	△5,302
固定負債	2,880	3,421	541
純資産合計	16,176	14,849	△1,326

(注) 流動負債の(借入金・社債)には、コマーシャル・ペーパーを含めております。

資産の状況

資産合計は、69,544百万円(前年度末比457百万円の増加)となりました。その概要は以下のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、66,662百万円(前年度末比630百万円の増加)となりました。

- ・現金及び預金は、9,668百万円(前年度末比2,283百万円の増加)となりました。
- ・商品出資金は、45,532百万円(前年度末比990百万円の減少)となりました。これは主にオペレーティング・リース事業の案件組成を積極的に行った一方で、出資金の販売を進めたことによるものであります。
- ・組成用不動産は、3,845百万円(前年度末比2,271百万円の増加)となりました。これは不動産小口運用商品を完売した一方で、新規商品用の不動産を取得したことによるものであります。
- ・上記以外の流動資産につきまして、7,616百万円(前年度末比2,934百万円の減少)となりました。これは主に、証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に関連して、カバー取引先である金融機関に対する差入保証金が2,375百万円(前年度末比2,596百万円の減少)、その他の流動資産に含まれるデリバティブ債権が1,208百万円(前年度末比1,006百万円の減少)となったことによるものであります。

(注) 通貨関連店頭デリバティブ商品の提供に際しては、当社グループが、デリバティブ取引の市場リスクを負担することを回避するために、顧客とのデリバティブ取引契約を締結する際に、カバー取引として、金融機関とデリバティブ取引契約を締結しております。その結果、資産側にデリバティブ債権とカバー取引先への差入保証金を計上するとともに、負債側に、デリバティブ債務と顧客からの受入保証金を計上しております。

#### (固定資産)

固定資産は、2,840百万円（前年度末比152百万円の減少）となりました。

- ・有形固定資産は、347百万円（前年度末比5百万円の増加）となりました。
- ・無形固定資産は、1,368百万円（前年度末比258百万円の減少）となりました。
- ・投資その他の資産は、1,124百万円（前年度末比100百万円の増加）となりました。

#### 負債の状況

負債合計は、54,695百万円（前年度末比1,784百万円の増加）となりました。その概要は以下のとおりであります。

#### (流動負債)

流動負債は、51,273百万円（前年度末比1,243百万円の増加）となりました。

- ・借入金・社債は、37,365百万円（前年度末比7,940百万円の増加）となりました。これは主に商品出資金・組成用不動産の取得原資としての資金調達が増加したためであります。
- ・第3四半期以降に販売予定の商品出資金に係る手数料の前受金は、5,987百万円（前年度末比1,395百万円の減少）となりました。
- ・上記以外の流動負債につきまして、7,919百万円（前年度末比5,302百万円の減少）となりました。これは主に、未払法人税等が2,075百万円（前年度末比1,331百万円の減少）となったこと、また証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に関連して、顧客から收受する受入保証金が2,597百万円（前年度末比2,856百万円の減少）、その他の流動負債に含まれるデリバティブ債務が1,222百万円（前年度末比995百万円の減少）となったことによるものであります。
- ・機動的な資金調達が可能となるコミットメントライン契約及び当座貸越契約等の総額は、当第2四半期連結会計期間末で、88,350百万円（前年度末比13,900百万円の増加）となりました。

#### (固定負債)

固定負債は、3,421百万円（前年度末比541百万円の増加）となりました。これは主に、借入金・社債が3,208百万円（前年度末比543百万円の増加）となったことによるものであります。

#### 純資産の状況

純資産合計は、14,849百万円（前年度末比1,326百万円の減少）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4,542百万円を計上した一方で、前年度の期末配当2,310百万円を実施したこと、また、自己株式3,523百万円を取得したことによるものであります。

自己資本比率は、当第2四半期連結会計期間末時点で21.2%（前連結会計年度末は23.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、当第 2 四半期連結累計期間期首に比べて2,283百万円増加し、9,668百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益が増加した一方で、組成用不動産の取得や法人税等の支払額が増加したこと等から、営業活動から得られた資金は45百万円（前年同期は、2,936百万円の資金収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動において使用した資金は119百万円（前年同期は、株式会社F P G信託の株式取得による支出があったこと等から、890百万円の資金支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払、自己株式の取得等があった一方で、借入金が増加したこと等から、財務活動から得られた資金は2,418百万円（前年同期は、706百万円の資金支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年 1 月29日に公表いたしました業績予想を修正しております。

（単位：百万円）

	平成28年 9 月期 (実績)	(修正後) 平成28年 9 月期 (本日付予想)		参考 (修正前) 平成28年 9 月期 (平成28年1月29日公表)	
		連結会計年度		連結会計年度	
	第 2 四半期 連結累計期間 平成27年10月 1 日～ 平成28年3月31日	平成27年10月 1 日～ 平成28年 9 月30日	前期比	平成27年10月 1 日～ 平成28年 9 月30日	前期比
売上高	10,598	19,388	26.6%	18,273	19.3%
タックス・リース・ アレンジメント事業	9,752	17,531	24.1%	16,253	15.0%
その他	846	1,857	56.7%	2,020	70.4%
営業利益	7,104	12,542	24.4%	12,132	20.3%
経常利益	7,128	12,666	26.0%	12,384	23.2%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	4,542	8,041	26.8%	7,915	24.8%
リース事業組成金額	181,999	360,000	21.1%	360,000	21.1%
出資金販売額	56,580	111,580	32.6%	101,000	20.0%

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 千円 )

	前連結会計年度 (平成27年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成28年 3 月 31 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,384,443	9,668,186
売掛金	125,222	749,777
貯蔵品	8,316	7,718
商品出資金	46,522,828	45,532,693
組成用不動産	1,574,318	3,845,577
繰延税金資産	1,442,511	1,066,527
差入保証金	4,972,365	2,375,781
その他	4,002,184	3,416,290
流動資産合計	66,032,190	66,662,553
固定資産		
有形固定資産	341,797	347,087
無形固定資産		
のれん	1,577,356	1,323,978
その他	50,056	44,823
無形固定資産合計	1,627,413	1,368,801
投資その他の資産		
繰延税金資産	38,747	31,697
その他	985,186	1,093,152
投資その他の資産合計	1,023,933	1,124,849
固定資産合計	2,993,144	2,840,738
繰延資産		
開業費	61,724	41,260
繰延資産合計	61,724	41,260
資産合計	69,087,058	69,544,552
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	147,936	249,048
短期借入金	24,106,400	30,492,350
コマーシャル・ペーパー	2,800,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,208,600	2,073,592
1年内償還予定の社債	310,000	300,000
未払法人税等	3,407,197	2,075,570
前受金	7,383,052	5,987,824
賞与引当金	196,279	135,385
受入保証金	5,453,301	2,597,286
その他	4,017,812	2,862,583
流動負債合計	50,030,579	51,273,640
固定負債		
社債	1,150,000	1,000,000
長期借入金	1,514,800	2,208,012
資産除去債務	83,029	83,316
その他	132,328	130,156
固定負債合計	2,880,157	3,421,485
負債合計	52,910,736	54,695,126

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,086,478	3,089,610
資本剰余金	3,036,478	3,039,610
利益剰余金	9,955,370	12,187,976
自己株式	△643	△3,524,143
株主資本合計	16,077,682	14,793,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	265
為替換算調整勘定	13,664	△45,143
その他の包括利益累計額合計	13,698	△44,877
非支配株主持分	84,941	101,250
純資産合計	16,176,322	14,849,426
負債純資産合計	69,087,058	69,544,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	8,246,826	10,598,656
売上原価	1,077,908	1,301,649
売上総利益	7,168,917	9,297,007
販売費及び一般管理費	1,294,666	2,192,961
営業利益	5,874,251	7,104,045
営業外収益		
受取利息	200,312	321,802
為替差益	2,555	—
不動産賃貸料	74,275	33,373
持分法による投資利益	134,615	158,912
その他	2,194	5,626
営業外収益合計	413,954	519,715
営業外費用		
支払利息	158,081	158,495
自己株式取得費用	—	27,128
為替差損	—	66,460
支払手数料	266,846	232,001
不動産賃貸費用	13,686	9,916
その他	19	1,025
営業外費用合計	438,634	495,027
経常利益	5,849,571	7,128,733
特別利益		
固定資産売却益	151	—
特別利益合計	151	—
特別損失		
減損損失	—	144,047
固定資産除却損	2,780	192
関係会社株式評価損	1,863	2,622
関係会社出資金評価損	—	295
会員権評価損	—	9,477
特別損失合計	4,644	156,634
税金等調整前四半期純利益	5,845,078	6,972,099
法人税、住民税及び事業税	2,295,781	2,032,194
法人税等調整額	△150,846	375,770
法人税等合計	2,144,934	2,407,965
四半期純利益	3,700,143	4,564,134
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	21,350
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,700,143	4,542,783

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年10月 1 日 至 平成28年 3 月31日)
四半期純利益	3,700,143	4,564,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	232
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,167	△2,408
為替換算調整勘定	—	△61,441
その他の包括利益合計	△7,120	△63,617
四半期包括利益	3,693,023	4,500,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,693,023	4,484,208
非支配株主に係る四半期包括利益	—	16,308



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,845,078	6,972,099
減価償却費	39,023	42,632
減損損失	—	144,047
のれん償却額	27,286	68,060
開業費償却額	17,052	20,463
支払手数料	266,846	232,001
関係会社株式評価損	1,863	2,622
固定資産除却損	2,780	192
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,906	△57,762
受取利息	△200,312	△321,802
支払利息	158,081	158,495
為替差損益 (△は益)	△18,858	38,485
持分法による投資損益 (△は益)	△134,615	△158,912
売上債権の増減額 (△は増加)	△83,632	△629,201
商品出資金の増減額 (△は増加)	△1,841,774	990,134
組成用不動産の増減額 (△は増加)	1,097,929	△2,271,259
差入保証金の増減額 (△は増加)	△3,773,656	2,596,584
受入保証金の増減額 (△は減少)	3,741,657	△2,856,014
仕入債務の増減額 (△は減少)	81,554	101,161
前受金の増減額 (△は減少)	671,270	△1,391,160
その他	△1,750,884	△598,414
小計	4,143,786	3,082,451
利息及び配当金の受取額	387,715	442,806
利息の支払額	△164,028	△157,314
法人税等の支払額	△1,431,098	△3,322,347
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,936,374	45,596
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,949	△30,565
有形固定資産の売却による収入	229	—
無形固定資産の取得による支出	△9,282	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△803,176	—
関係会社株式の取得による支出	△54,443	△76,739
敷金及び保証金の差入による支出	△13,682	△12,579
敷金及び保証金の回収による収入	1,884	557
その他の収入	16,663	5,463
その他の支出	△15,685	△6,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△890,441	△119,938

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,347,105	6,385,950
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	2,000,000	1,700,000
長期借入れによる収入	2,800,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△768,800	△1,341,796
社債の発行による収入	800,000	—
社債の償還による支出	△110,000	△160,000
株式の発行による収入	9,288	6,264
配当金の支払額	△812,995	△2,307,593
手数料の支払額	△276,770	△240,930
自己株式の取得による支出	—	△3,523,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△706,383	2,418,393
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,858	△60,308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,358,408	2,283,743
現金及び現金同等物の期首残高	4,092,451	7,384,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,450,859	9,668,186

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年11月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、当該自己株式の公開買付けを実施した結果、平成27年12月28日に、普通株式4,500,000株、3,523,500千円を取得いたしました。

この結果、当第2四半期会計期間末における自己株式は3,524,143千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	F P G	F P G証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,113,386	85,815	8,199,202	47,623	8,246,826	—	8,246,826
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,830	600	2,430	—	2,430	△2,430	—
計	8,115,216	86,415	8,201,632	47,623	8,249,256	△2,430	8,246,826
セグメント利益又は損失(△)	6,047,925	△39,947	6,007,978	△158,406	5,849,571	—	5,849,571

- (注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。  
 2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。  
 3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G投資顧問」及び「F P G信託」セグメントであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	F P G	F P G証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,044,266	103,903	10,148,169	450,486	10,598,656	—	10,598,656
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,370	9,343	12,713	—	12,713	△12,713	—
計	10,047,636	113,246	10,160,883	450,486	10,611,370	△12,713	10,598,656
セグメント利益又は損失(△)	7,309,838	△37,938	7,271,900	△143,166	7,128,733	—	7,128,733

- (注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。  
 2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。  
 3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G投資顧問」、「F P G信託」及び「F P G AMENTUM」セグメントであります。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

平成27年5月に「F P G」セグメントにおける持分法適用関連会社であった、航空機投資管理サービス事業を行うFPG AMENTUM LIMITEDを連結子会社としたことにより、前連結会計年度より「F P G AMENTUM」を事業セグメントとしております。FPG AMENTUM LIMITEDのみなし取得日は平成27年6月30日としているため、前第2四半期連結累計期間は持分法を適用したうえで「F P G」セグメントに含めており、当第2四半期連結累計期間は「F P G AMENTUM」を事業セグメントとし「その他」に含めております。

(注) 当第2四半期連結累計期間より、「AMENTUM」のセグメント名を、「F P G AMENTUM」に変更しております。この変更が、上記セグメント情報の金額等に与える影響はありません。